



# ほけんだより

平成29年8月  
大田区立保育園

真夏日が続いていますが、子どもたちは毎日元気に水遊びや夏の遊びを楽しんでいます。

ここ数年、ゲリラ豪雨の被害の報道を耳にすることが多くなりました。落雷の被害は、例年8月に集中しています。今回は、落雷の被害から身を守ることを学んでみましょう。

## 【 雷が鳴りだしたら・・・ 】

雷は、光と音の伝わる速さの違いで、「ピカッ」から「ゴロゴロ」までの間が空くほど雷雲が遠いと判断できます。しかし、いつどこに落ちるかは分からないため、遠くでかすかに雷の音が聞こえ出したら、屋内などの安全なところに退避することが、身を守る一番の行動です。

## 【 ✕ 危険な場所 ○ 安全な場所 】



## 【 屋外での身の守り方 】

㊦ 頭より高い位置に傘や釣竿などを揚げない  
⇒とがったところに雷は落ちる!!

㊦ 雷しゃがみの姿勢をとる  
足をそろえてしゃがみ、耳を押さえ目を閉じる  
⇒地面に落ちた雷からの感電を防ぐ

〔 地面に寝転ぶと、直接触れる部分が多くなり、感電する危険が高くなる 〕

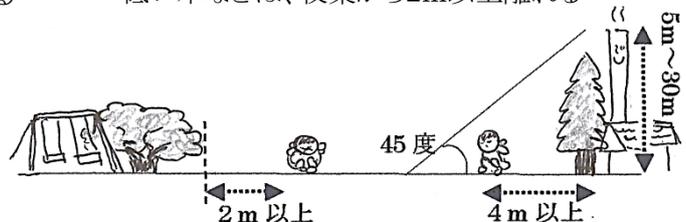


通称『雷しゃがみ』

【 ㊦・・・雷の天気記号です 】

㊦ 落雷被害から比較的安全な『保護域』を探す

- ・高さ5m以上30m以下の高い物体のてっぺんを45度以上の角度で見上げる範囲で4m以上離れたところにしゃがむ
- ・低い木などは、枝葉から2m以上離れる



## 【 落雷にあった人を目撃したら 】

\*直撃による心肺停止は、すぐに心肺蘇生法を開始することで救命する確率が上がります。

雷に打たれた人に触っても感電しないので、迅速に、安全な場所で心肺蘇生を開始し、救急車で病院に運びましょう！



～ 参照:気象庁hp、NHKそなえる防災、雷なんでもサイト ～